

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年6月15日現在

機関番号：17201

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2010～2011

課題番号：22659392

研究課題名（和文） 国際緊急援助活動における効率的な医療・看護記録の開発

研究課題名（英文） Development of Practical Medical Records for International Disaster Relief Operations

研究代表者 吉水 清 (YOSHIMIZU KIYOSHI)

佐賀大学・医学部・助教

研究者番号：40530192

研究成果の概要（和文）：本研究は、国際緊急医療援助活動（IDR）における医療・看護記録のモデルを作成して、効果的な国際緊急援助活動が行われることに貢献しようとするものである。IDR経験者および災害医療の専門家を対象として、IDRにおける医療活動に役立つ実践的な診療記録の形式の調査を行い、IDR Medical Record 2012を開発した。

研究成果の概要（英文）：The authors proposed the IDR (International Disaster Relief Medical Record 2012 format, which is a practical and effective medical record format for IDR operations.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,000,000	0	1,000,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,700,000	210,000	1,910,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・基礎看護学

キーワード：災害看護

1. 研究開始当初の背景

近年、大規模な自然災害が世界中で頻発しており、わが国は積極的に国際緊急援助活動（IDR）に参加している。効率的で効果的なIDRを行うためには、被災地の混乱した状況の中でも受診患者の特徴や実際の医療活動を記載し、評価・分析できるような診療記録が必要不可欠である。

2. 研究の目的

IDRにおいて使用する診療記録の具備すべき条件について調査し、効果的なIDRのための診療記録のフォーマットを提案することを目的として研究を実施した

3. 研究の方法

第一次調査として、国際協力機構（Japan International Cooperation Agency: 以下 JICA と略記する）、自衛隊、日本赤十字社、

および NGO に属し、過去に IDR に参加した経験のある日本人医師 30 名、看護師 21 名を調査対象とした。対象者に自記式質問紙調査票を郵送にて配布して実施した。

調査項目は、(1) 対象者の基本属性、性別、職種、年齢、職歴年数、IDR 参加回数および参加時の所属組織を調査した。また、(2) IDR に使用される理想的な診療記録の条件について、「簡便性」、「耐久性（耐水性を含む）」、「国際基準（世界保健機関（World Health Organization：以下 WHO と略記する）の定める基準等）との互換性」、「記載言語（英語併記）」、「記入のしやすさ」、「見やすさ」、「症状の記載の平易さ」、「人体図の記載」、「他の医療組織との互換性」、「処方箋との一体化」、「パソコン入力等の電子化」、「検査伝票・報告書との一体化」の 12 項目の中で、どの項目を重視するかについて複数回答で調査した。分析方法は、自記式質問紙調査票の回答を数値化し集計した。12 項目を対象者の重視度が高い順から優先順位をつけた。

第二次調査は、日本国際保健医療学会、Asia Pacific Conference on Disaster Medicine、Annual International Wu Ho-Su Memorial Symposium on Emergency and Disaster Medicine に参加し、国際的な災害医療や災害看護における専門的知識を持ち、過去に IDR に参加した経験のある医師 7 名、看護師 3 名を調査対象とした。（IDR 未経験の医師、看護師は除外した。）

調査方法は、各学会の期間中に、対象者に文書および口頭で研究協力の依頼を行った。同意が得られた医師、看護師に対し、IDR Medical Record 2008 を配布し、この診療記録について、問題点や改善すべき事項を自由記述で回答してもらった。調査用紙（IDR Medical Record 2008）の回収時に、研究者と対象者の両者によって記述内容の解釈に

相違がないか口頭で確認した。同時に面接による聞き取り調査を実施した。

調査項目は、(1) 対象者の基本属性、性別、職種、年齢、IDR 経験の有無および参加回数、国籍について面接による聞き取り調査を行った。また、(2) 第一次調査で得た結果と JDR 医療チームと日本赤十字社で災害派遣時に使用されている診療記録用紙を参考にして、新たに IDR Medical Record 2008 を開発した。この診療記録について、さらにグローバルな視点から IDR Medical Record 2008 の問題点や改善すべき事項について調査した。国際的に活躍している災害医療の専門家 10 名を対象に、効率的で効果的な IDR が行える理想的かつ実践的な診療記録の形式について自記式質問紙の配布および面接にて調査した。効率的で効果的な IDR が行えるような診療記録のフォーマットについて検討した。それらのデータをもとに、IDR Medical Record 2012 を作成した。

4. 研究成果

第一次調査では、効率的で効果的な IDR が行える理想的な診療記録として、半数以上の対象者が、「記入のしやすさ」、「簡便性」、「記載言語（英語併記）」、「見やすさ」、「国際基準（WHO の定める基準等）との互換性」、「人体図の記載」、「症状の記載の平易さ」、「耐久性（耐水性を含む）」、「処方箋との一体化」の 9 項目を重視すると回答した。一方、「他の医療組織との互換性」、「パソコン入力等の電子化」、「検査伝票・報告書との一体化」の 3 項目を重視する回答は、半数以下であった。

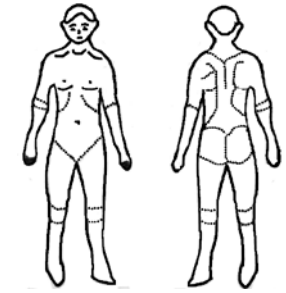
第二次調査では、第一次調査結果をもとに作成した IDR Medical Record 2008 に対する評価の調査を実施した。さらにその評価をもとに、IDR Medical Record 2012 を作成した。

以下に主要な結論を列挙する。

1. IDR において使用する理想的な診療記録の条件として、「記入のしやすさ」、「簡便性」、「記載言語(英語併記)」、「見やすさ」、「国際基準(WHO等)との互換性」、「人体図の記載」、「症状の記載の平易さ」、「耐久性(耐水性を含む)」、「処方箋との一体化」が最も重視された。
2. IDR において使用する理想的な診療記録の具備すべき記載事項は、①「住所、氏名、性別、年齢」、②「病名および主要症状、バイタルサインとして体温、血圧、呼吸数、脈拍数、また患者の症状が記入できる人体図が記載」③「処方および処置」、④「診療の年月日」の4項目であり、記載言語は英語表記が望ましい。
3. IDR Medical Record 2008 の問題点や改善すべき事項は、【診療記録の単純化と効率化】、【診療記録記載後の記録の共有化】、【診療記録の媒体と管理】の3つのカテゴリーが明らかになった。

以下に IDR Medical Record 2012 を提示する。現在、Journal of International Health 2012年6月号に掲載予定である。

I D R 2012 Medical Record (表面)

Number (ID)		Date:	Time:
Urgency classification (Triage) <input type="checkbox"/> MINOR <input type="checkbox"/> DELAYED <input type="checkbox"/> IMMEDIATE <input type="checkbox"/> MORGUE		Triage officer's sign	
Name:		Past history:	
Age: Sex: <input type="checkbox"/> Male <input type="checkbox"/> Female Pregnancy: <input type="checkbox"/> Yes weeks <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> Unknown		Allergy: <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> Unknown <input type="checkbox"/> Drug() <input type="checkbox"/> Food() <input type="checkbox"/> Other()	
Patient's contact address or Phone number:			
Key person's name:		Contact address or phone number:	
General Condition: T: °C P: /min BP: mmHg R: /min SpO ₂ : %			
Chief complaints:			
			

I D R Medical Record 2012 (裏面)

Date/Time	Condition	Treatment	Sign

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 3 件)

- ① Kawahara K , Shinchi K, Shinchi T, Umezaki S, Yano K, Matsunaga H, Akinaga K , Yoshimizu K. Proposal of the IDR Medical Record 2010 for International Disaster Relief Operations. 第 26 回日本国際保健医療学会学術大会. 2011. 11. 4-6. 東京
- ② 新地浩一, 川原一恵, 梅崎節子, 矢野潔子, 新地豊香, 吉水清, 松永妃都美, 秋永之和, 米満伸子, 柴山薫, 石丸律子, 西尾美登里. 国際緊急援助活動における効率的な医療記録の提言. 第 25 回日本国際保健医療学会学術大会. 2010. 9. 11-12. 北九州
- ③ Shinchi K, Kawahara K , Umezaki S, Yano K, Akinaga K, Shibayama K, Yonemitsu N, Matsunaga H, Shinchi T, Yoshimizu K, Proposal of a new type of medical records for international disaster relief operations. 10th Asia Pacific Conference on Disaster Medicine. 2010, 8, 26-28 Sattuporo, Japan.

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
出願年月日 :
国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :
発明者 :
権利者 :
種類 :
番号 :
取得年月日 :
国内外の別 :

[その他]

ホームページ等
特になし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉水 清 (YOSHIMIZU KIYOSHI)
佐賀大学・医学部・助教
研究者番号 : 40530192

(2) 研究分担者

新地 浩一 (SHINCHI KOICHI)
佐賀大学・医学部・教授
研究者番号 : 30404164

矢野 潔子 (YANO KIYOKO)
佐賀大学・医学部・客員研究員
研究者番号 : 80549163

(3) 連携研究者 なし